

## 最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 9 月 7 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

### ■ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインと-2 $\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。依然として、バンド幅も収束傾向となっており、レンジ相場の地合いを強めていると読める。引き続き、目先はレンジトレーディングを行いつつも、今後の相場の放れの際にトレンドに乗りたい場面。

#### ◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯継続している点、そして、再度、ターゲットのプラス 2 $\sigma$ ラインに到達した後、反落している点、注目したい。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。尚、終値が+1 $\sigma$ ラインの下方で引けており、調整のドル反落局面と読めるが、同時に、センターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読めることから、引き続き、目先は、方向感に欠ける展開と読む。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。

#### ■ユーロドル

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆。尚、下落傾向となっているローソク足に絡み続けるかどうか注視したい。すなわち、遅行スパンの「同期性」(ローソク足の上げ下げのリズムに呼応しながら推移すること)に注目。

○トレンド判断と戦略=目先、+1 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、遅行スパンが、下落傾向となるローソク足を通過していることから、引き続き、ユーロ軟調な展開を想定しておきたい場面。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯中。そして、引き続き、逆行パターンの売りサインが点灯している点に注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな下落トレンド継続中、調整の反騰局面

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。尚、終値が $-1\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面とも読める。

◆スパンモデル

赤色スパンが下向きに変化して以降、終値が $-2\sigma$ ラインの上方で引けており、逆行パターンの買いサイン点灯継続中。加えて、売りシグナル点灯時の猶予期間の安値を上回って推移継続しており、依然として、逆行パターンの買いサインが点灯している点にも注目。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆。尚、下落傾向となっているローソク足に絡み続けるかどうか注視したい。すなわち、遅行スパンの「同期性」(ローソク足の上げ下げのリズム

に呼应しながら推移すること)に注目。

○トレンド判断と戦略＝目先、+1 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、遅行スパンが、下落傾向となるローソク足を通過していることから、引き続き、ユーロ軟調な展開を想定しておきたい場面。

#### ◆スパンモデル

赤色スパンの逆行パターンの買いサインが点灯継続している点、そして、すでに、赤色スパン、+1 $\sigma$ ラインに到達後、最終ターゲットの+2 $\sigma$ ライン近くまで上昇した後に反落している点に注目。そして、買いシグナルが点灯中。そして、逆行パターンの売りサイン点灯中となっている点に注目。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと-2 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値の上方で推移していることから、逆行パターンの買いサインが点灯継続中である点、引き続き注目したい。

#### ■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝遅行スパンが陰転継続し、終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

売りシグナルの順行パターンの売りサインが点灯していることに加え、赤色スパンの順行パターンの売りサインが点灯している点に、引き続き注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの下向き変化時、および、売りシグナル点灯時の猶予期間中の安値を下方にブレイクしており、順行の売りサインが点灯継続している点、引き続き注目。

■ポンド円

### <<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、逆行パターンの買いサインが点灯継続しているが、最終ターゲットのプラス2 $\sigma$ ラインに到達した後に反落している点に注目。

### <<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2 $\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、終値が-2 $\sigma$ ラインを上回って推移していることから、引き続き、逆行パターンの買いサインが点灯している点、注目。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。